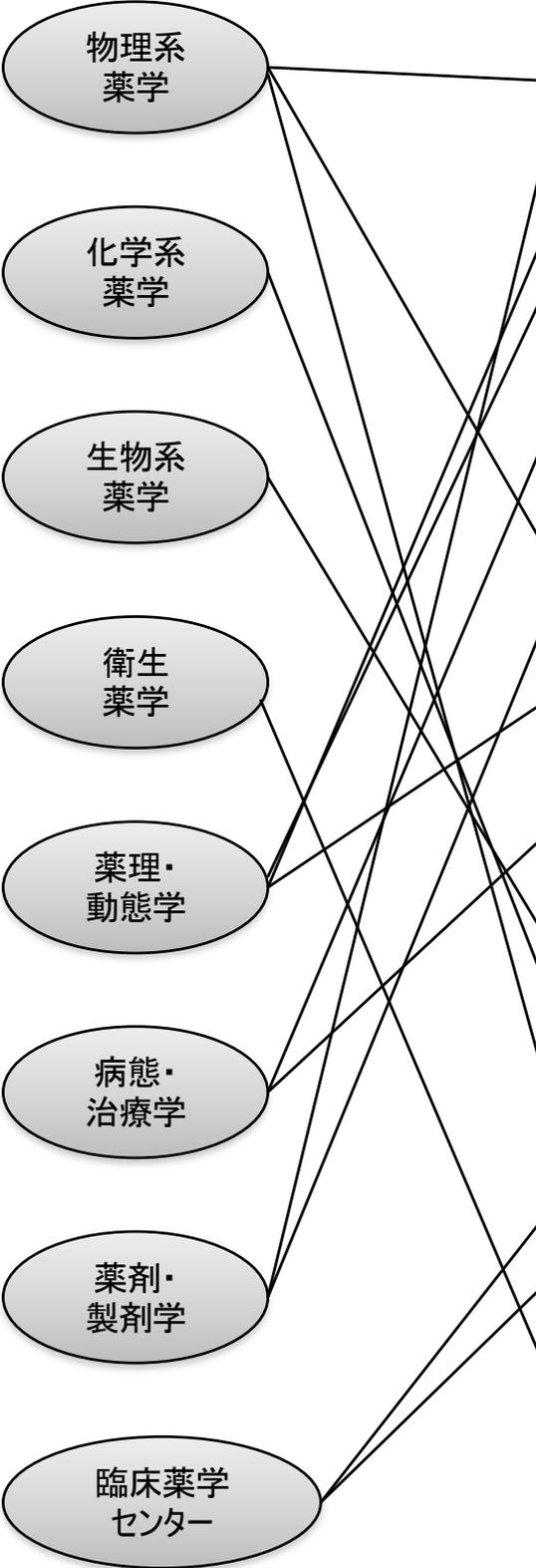


# 鈴鹿医療科学大学大学院薬学研究科の構成と6年制薬学部教育における専門領域の関係

6年制  
薬学部教育

大学院薬学研究科の構成と  
各教員の研究テーマ



病態解析・薬効制御学分野	
飯田靖彦	病態特性に基づく選択的薬物移行を利用した臨床画像診断薬・治療薬の開発
大倉一人	病態関連因子の動的機能解析、エネルギー代謝制御と薬効制御
藤川隆彦	脳への神経栄養サプリメント・エソウコギ等を用いた自立神経の安定化(抗不安作用)を活用した記憶・学習向上研究
郡山恵樹	中枢神経の修復・再生促進化合物の探索とメカニズム解析

薬物治療設計・管理学分野	
大井一弥	ライフステージに応じた急性期薬物治療管理に関する研究
定金 豊	神経変性疾患に関わる生体分子の老化分析および相互作用解析法の開発
中山浩伸	病原真菌の環境適応の分子機構の解明
西田圭吾	アレルギー発症機序の解明とその治療薬開発に関する研究

医薬品解析・開発学分野	
鈴木宏治	血栓症の分子病態解析と抗血栓性物質の探索研究
佐藤英介	機能性食品による活性酸素代謝と老化・癌の制御
田口博明	ペプチド科学を基盤技術とした高付加価値抗体作成法に関する研究
米田誠治	遷移金属を用いた制がん医薬品の開発研究

社会環境薬学分野	
三輪高市	抗うつ薬の睡眠および鎮静への影響に関する研究
榎屋友幸	薬物治療における臨床疑問の解決に向けた研究
坂 晋	薬剤・環境による胎児毒性に関する疫学研究

医療薬学教育部		
(医師)	伊奈田宏康	西村嘉洋
(実務家教員)	八重徹司	林 雅彦